

大川石材ニュース

大川等全技連マイスターに認定

〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼2775番地13

電話(087)845-9640 FAX(087)845-7510

E-mail info@ookawasekizai.com

<http://www.ookawasekizai.com>



(株)大川石材は、四国八十八番札所「八栗寺」のある香川県高松市牟礼町に位置し、1945年より庵治石を中心とした石材加工業を営んでおります。

このたび、代表取締役 大川等が 全技連マイスターとして認定をうけました。全技連マイスターとは、特級、1級、単一等級の技能士で、20年以上の実務経験があり、優れた技能実績を持ち、後進の育成及び技能の伝承に熱心な技能士として認定された者です。

世界の最高峰のみかげ石「庵治石」と向かい合い、「石工として職人魂を大切に、石材加工を通じて日本の伝統文化」を伝えるために半世紀あまり仕事に取り組んできました。

【大川等のプロフィール】

1944年2月21日生まれ 血液型B型 1959年中学卒業後、父が大病を患っていたため定時制高校で勉強をしながら石工の修行を4年間する。高校卒業後、父の経営する(有)大川石材工業所に入社 1970年結婚 1983年社長に就任、1988年新工場落成 1990年(株)大川石材に組織変更、2004年～2006年日本石材産業協会 加工部会長 1978年～現在至る30年間 讃岐石材加工協同組合理事 1992年頃より16年間技能士検定の講師 2004年～現在至る 技能士検定試験官

【大川等の3つの志】

1. 石工の育成

大川等の若い時代は、石工のなり手も多く、若いものが切磋琢磨しながら、修行をつむというスタイルが主流でしたが、今は「育てる」時代になったと考えています。

大川等は、何かに挑戦して、自分も若者も育てるという手法をとってきました。

1-1 技能五輪への挑戦

技能五輪大会 技能五輪の国際大会出場を目指しています。

第43回(2005年)技能五輪全国大会 香川県代表 1名出場

第44回(2006年)技能五輪全国大会 香川県代表 2名出場 1名銀賞

全国石材技能選手権にも挑戦しています

第2回(2008年)全国技能選手権 1名出場 銅賞

1-2 資格取得に挑戦

資格取得による技術の向上をはかっています。

資格取得人数 一級技能士(石工) 2名 一級技能士(貼り石) 2名 一級技能士(石積み) 1名
二級級技能士(石工) 2名



2. 庵治石の文化の継承

2-1 無理難題に挑戦



お客様のご要望は、ラフタークレーンとか機材等が全く使用できない墓地で、大型墓石(仏石だけで4トン)を建立したいという条件でした。どの石材店も困難と言うなか、伝統技術と最新技術を駆使し、今までの経験を全ていかした施工となりました。

2-2 NHKの放送に協力



平成19年1月15日(月) 生放送「ふるさと一番」に庵治石の採掘業や加工業の経営者の後継者で構成する「石栄会」が中心となって「庵治石の魅力」を伝える番組が放映されました。(株)大川石材での撮影にも全力で番組作りに取り組みました。

2-3 芸術家の作品製作に協力



「石の彫刻国際シンポジウム2006」の招待作家岩崎幸之助先生のサポート企業として、作品の製作を支援致しました。作品は現在、庵治の城岬(しろばな)公園にあり、おれは「太陰暦」だ、というように際立って大きく、海を見据えるように座っています。重さは約10tです。

3. 品質管理の徹底

3-1 砥石仕上げを標準に採用 光沢計による出荷管理



研磨圧力・研磨時の砥石の動きや時間を研究し、最高光沢度98度を達成しました。同じ面積を研磨するには、パフ仕上げ(最終の艶工程)のほうが1/2の手間と時間で済むのですが、砥石仕上げは職人の技と時間が必要です。艶持ちもよくみかげ石にあった研磨工程となります。

3-2 作業性の高い工場およびエコ活動の徹底



整理・整頓・清潔をいつも心がけています。事務所も工場もいつでも見学できます。また、(株)大川石材は環境問題にもいち早く取り組み、砥石磨きの過程を水銀灯でなく自然採光にすることも行っています。

近くには、「世界の中心で愛を叫ぶ」のロケ地や、20世紀を代表する石の彫刻家イサム・ノグチイサム・ノグチの庭園美術館もあります。ぜひお立ち寄りください。